

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設当初から事業所理念を、自分たちの言葉で見直したい。	何を大切にして介護していくのかをすべてのスタッフで共に考え、新しい理念を作る。	3月13日、スタッフ間で【自分だったらどのような老後を送りたいか】話し合い、新しい理念【・思いやりの気持ちを大事にして安心して暮らせるよう支援します。・一人一人が喜びや幸せを感じられるよう支援します。】を作りました。定期的にスタッフ間で行えているか確認しあっています。	1ヶ月
2	33	看取りに関して、従来は重度化した場合は対応しない方針であったが、今後の看取りに関して検討する事例があり、事業所の方針を検討していく必要がある。	職員の対応スキルをアップし、不安の軽減をしながら看取りに関する事業所の方針を決めていく。	医療関係者とどのような協力体制をとっていくかスタッフ間で話し合う。喀痰吸引等の研修を受ける。(1名ずつ) すべてのスタッフが、急変時の応急手当や初期対応が出来るよう、施設内外の研修に参加する機会を作っていく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議において、事業所からの報告が内容中心になっており、参加者側からの意見が少ない。	参加者から有意義な意見を引き出し、充実した話し合いが出来るようになる。	話し合いの内容を具体的に設定し、意見を出しやすくする。ホームの課題や困っていることを報告し、共有する。(2月25日推進会議より行っています)	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。